

1 心に響く道徳教育の推進

- **指導内容の重点化と指導計画の改善**
 - ・ 子どもや学校、地域の実態を踏まえ、学校における重点目標を設定するとともに、指導内容の重点化を図る。「別葉」の作成にあたっては、各教科等における道徳教育の指導の「内容と時期」が明確になるよう工夫する。
 - ・ 主題の設定と教材の配列を工夫し、「自校ならでは」の指導計画の具現化を図る。作成にあたっては、「ふくしま道徳教育資料集」等の地域素材を積極的に位置付け、活用する。
- **「特別の教科 道徳」の時間の量的確保、質的改善**
 - ・ 道徳の「特別の教科化」の趣旨を踏まえ、年間35時間（小1は34時間）の道徳科の授業を確実に実施するとともに、「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等を取り入れることで、子どもの心に響く多様な指導方法を工夫する。
 - ・ 評価の視点や方法、評価のために収集する資料などについてあらかじめ学年内、学校内で共通理解・共通実践を図る。また、評価について保護者に説明する機会を設けることで、家庭と連携した道徳教育の効果的な推進が図れるように努める。
- **保護者や地域と連携した道徳教育の推進**
 - ・ 保護者や地域の人たちが授業を参観する機会を設けるとともに、参加したり協力したりするような指導体制を工夫することで、各校の道徳教育の目標の具現化を図る。

2 多様な体験活動・交流活動の工夫

- **学校や子どもの実態、発達段階等に応じた体験活動、交流活動の充実**
 - ・ 集団宿泊活動、文化芸術体験活動や地域と連携した奉仕体験活動、自然体験活動等の充実を図るとともに、活動の成果を各教科の指導等に生かすことで、自己の生き方についての考えを広げたり深めたりする機会とする。
 - ・ 地域の大人や子ども、高齢者、障がいのある人たち等と触れ合う機会の充実を図ることで、心を耕し、思いやりや郷土愛、規範意識等をはぐくむ。
- **望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の充実**
 - ・ 地域と連携しながら社会体験活動、職場体験活動等の充実を図ることで、子どもたち一人一人のキャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）を効果的に支援する。

3 児童生徒理解に基づく生徒指導の充実

- **不登校の未然防止・早期発見等のための組織的な取組**
 - ・ 「新たな不登校を生まない」という意識を全教職員で共有し、日常の観察や対話による実態把握に努め、不登校の未然防止や早期発見、早期対応、早期解決に努める。
 - ・ 不登校の状態にある子どもへの支援について、長期的・短期的な視点を持ち、チームでの対応の充実を図る。
- **いじめ根絶に向けた組織的な取組**
 - ・ いじめは人権に関わる重大な問題であり、人間として絶対に許されないという認識を全教職員で共有し、「学校いじめ防止基本方針」を基に組織的、実効的な取組の充実を図る。
 - ・ 子どもの立場に立った積極的な「いじめの認知」に努めるとともに、保護者に対して積極的に情報提供するなどして理解と協力を得ながら、早期対応、早期解決に努める。
- **教育相談の充実とSC、SSW等との効果的な連携**
 - ・ 子どもとの信頼関係の醸成に努め、教員一人一人がカウンセリングマインドをもって相談支援にあたるとともに、教員間の連携を深めるなど校内支援体制の確立に努める。
 - ・ SCやSSW、外部関係機関と連携しながら、チームとして個に応じた支援ができるように、校内のコーディネート力の向上を図る。
- **情報モラルに関する指導の充実**
 - ・ 子どもの発達の段階に応じて5分野の内容をもれなく扱えるよう教育課程を編成するとともに、情報社会における行動に伴う責任と危険性についての理解を促す。
 - ・ SNSの適切な利用方法について、外部講師などを効果的に活用するなどして、具体的に実効的な指導を行えるよう工夫する。